

吾川支所管内より



二人仲良く、現地検討会にも

ふじわら としお
藤原 敏雄さん(74)
たつこ
多津子さん(73)

バスの運転手をしていた敏雄さん。定年後は多津子さんと二人で土佐文旦やお茶を栽培しています。多津子さんは農業の合間に、女性部活動やコンニャクづくりに励んでいます。

敏雄さんは多津子さんの「おおらかで陽気な性格にいつも助けられる」と笑顔。実は多津子さんに一目ぼれ♡ だったそうです。

現地検討会にも二人で参加し、仲良く農業を続けています♪

“人間っぽさ”がクセになる

(上) アドルくん(オス・ミニチュアピンシャー・11歳)
(中央) モコナちゃん(メス・ダックスとプードルのミックス・12歳)
(下) ロアちゃん(メス・ミニチュアピンシャー・8歳)

つづい かずみ
飼い主：筒井 一水さん
さきこ
佐紀子さん(妻)

元気いっぱいのロアちゃんに、パパの様子をじっと見ているアドルくん、ママに抱かれて2匹を見守るモコナちゃん。

ミニチュアピンシャーが好きで、代々飼っている筒井さん。「愛情深く、正義感が強い。人間っぽさがクセになります」と笑顔。

小型犬ながら、筋肉質なピンシャー。食事には馬肉のふりかけを追加して、毛艶や体系を維持。元気いっぱい、駆け回ります！

吾北支所管内より



仁淀川
地区

から こんにちは
今月の○○ 気になる人

日高支所管内より



地域農業を守る！

しぶや たけし
渋谷 剛志さん(71)

地域の農業や農地を保全しようと立ち上がった沖名営農組合。設立6年目で、渋谷さんが組合長を務め、組合員は11人。米4ヘクタール、生食米4ヘクタール、ショウガ50アールなどを栽培しています。

取材の日は、ショウガ掘りの真ただ中！ショウガ掘りが終わったら、耕作放棄地を防ぐために植えたサトイモで、「みんなと芋煮会をするのが楽しみ！」と、笑顔を見せてくれました。

“オープンマインド”な女性部に

みやじ さち
宮地 幸さん(54)

土佐市宮ノ内地区で土佐文旦を栽培している幸さんは、女性部土佐市地区の部長になって2年目。女性部活動をオープンな場にしようと取り組んでいます。今では、支部の垣根も超えて、部員以外の方との交流も増え、部員たちも元気に！「女性部の雰囲気明るくなってきた」と話します。

「新しい企画も考えたい！」と幸さん。魅力ある活動に向けてまい進中です♪

戸波支所管内より



5

組織活動

好評！もちづくり体験
女性部土佐市地区

「いもち」を作る参加者ら

女性部土佐市地区は11月24日に、もちづくり教室を開き、女性部員ら10人が参加しました。女性部高岡支部の石元千恵さんに教わりながら「いもち」の他、「白もち」「よもぎもち」を作りました。

石元さんは「昨年の参加者から『楽しかったからまたやってほしい』と声が上がったと聞いている。2回目が開催できてうれしい」と話し、参加者は「家で母が出来立ての『いもち』を楽しみに待っている」などと喜びました。

3

地域貢献

ポイ捨て禁止！
ラブリバー2020仁淀川清掃

清掃活動をする参加者ら

伊野支所は11月7日、いの町大内の仁淀川堤防沿いで「ラブリバー2020仁淀川清掃」を行いました。

JA役職員や助けあい組織「赤い樺隊」にこにこ会伊野支部の会員ら41人が、地域の環境美化に励みました。

参加者らは草むらに分け入り、空き瓶やビニール傘などのゴミを回収。「道路からそのまま投げ込んだようなゴミもあった」「活動を通じて自然を守り、仁淀川を大切にしたい」などと話しました。

6

組織活動

巻きずしコンテスト
個性豊か、色鮮やかに

日高支部の「日高のトマト巻き」

女性部コスモス地区は11月10日に、『家の光』9月号の「巻きずしコンテスト」へ応募するため、各支部のオリジナル巻きずしを集め、応募する一品を選びました。

参加した女性部員らは試食し、投票。応募する一品には日高支部の「日高のトマト巻き」が選ばれました。米を炊くときに、トマトを入れることで色鮮やかな寿司になりました。その他、吾北支部の「いたどりの花巻きずし」、伊野支部の「りゅうきゅう寿司」なども好評でした。

4

組織活動

来年をお楽しみに
赤い樺隊、「おきやく」2020

「おきやく」の準備に励む部員

助けあい組織「赤い樺隊」は11月25日、佐川町で「男のおもてなし」土佐のおきやくin佐川2020を開きました。例年、地域住民ら150人ほどを招いて行いますが、今年はコロナ禍を考慮し、隊員のみで開催しました。隊員ら17人は「カブのみぞれ煮」「オムライス」など新メニューの15品を調理。

参加した隊員らは「磨いてきた腕を披露したかったが残念」「次こそは盛大に行いたい」と来年に期待しました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



池田修さん、受章おめでとうございます！

1 営農

池田修さん 旭日単光章
受章おめでとうございます！

秋の叙勲で、土佐市高岡地区の池田修さんが旭日単光章を受章しました。

池田修さんは22歳から農業を始め、現在は18^ルでハウスキュウリを栽培しています。1997年から農業委員を務め、会長は5期目。高知県農業会議の常任会議員や常設審議委員などを歴任しました。「受章は私にとって思いがけない出来事で光栄。農業委員会のみんなや妻・育子の支えがあつて受章できたと思う」と喜びを語りました。

池田さんは「農地は人々にとつ

て貴重な財産。農地転用などについては、後で支障が出ないよう、慎重に審査してきた」と話します。土佐市の農業委員会は、農地から宅地への転用の際には、宅地が近隣の農地に排水や日当たりなどで迷惑をかけるいよう、関係者全員と面談し議事録を残すなどして、丁寧に審査しています。

昨今は後継者不足が課題なので、「人・農地プラン」に力を入れ、農地を次世代につないでいきたいと抱負を話してくれました。



ニラの生育状況を確認する参加者ら

2 営農

部会の垣根を越えて
合同でニラ現地検討会

仁淀川地区のニラの生産者らが11月20日、部会の垣根を越えて合同で現地検討会を開きました。コスモスニラ生産部と土佐市ニラ部会の他、営農指導員や県高吾農業改良普及所の職員ら約20人が参加しました。

参加者らは土佐市と佐川町のほ場を計3カ所巡回し、生育状況を確認しました。土佐市高石地区では、土佐市ニラ部会部会長の森田浩之さんのハウスを訪問。森田部会会長の管理方法や施肥のタイミングなどを学びました。

森田部会長は「コロナ禍で実現が遅れたが、合同の現地検討会が実施できてうれしい。良い交流になった」と話し、コスモスニラ生産部の土井淳助部長は「作り方やマルチの使い方法など学ぶところがあつた。山を一つ越えるだけの近さ。今後も続けたい」と笑顔を見せました。

とさし営農経済センター営農指導課の松本哲也営農指導員は「大変充実した現地検討会になった。今後も共同で開催していきたい」と話しました。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

いつも楽しく読ませていただいております。パズル、プレゼント、レシビ、お便りのページが好きなので、裏からチェックしています。シヨウガはだいたい余ることが多いので、炊き込みご飯にもチャレンジしてみようと思います。

(佐川支所管内・Yさん53歳)

シヨウガの炊き込みご飯、おいしそうですね!

(土佐市支所管内・Iさん51歳)

シヨウガの炊き込みご飯がおいしそうだったので、お母さんにも作ってもらいたいです。

(佐川支所管内・Oさん10歳)

シヨウガの炊き込みご飯「ん〜シヨウガ?」と思ってましたが作ってみてビックリ、美味でした。

(土佐市支所管内・Nさん63歳)

新シヨウガの季節ですね。あちらこちらで、総出で収穫作業をしているのを見かけます。毎年、近所の方に頂きますが、砂糖醤油で甘辛く煮つけにして、ご飯のおともにしています。

(伊野支所管内・Mさん44歳)

▼シヨウガを薬味ではなく、主役にした料理は、産地ならではですね。シヨウガの炊き込みご飯、おいしいので、みなさんの定番料理になってほしいです。シヨウガのかき揚げもおすすです。Mさんオススメのシヨウガの佃煮も美味しそうですよね! 皆様のおススメなレシビがあれば、教えてくださいね。

日本中を旅して、各地の地酒を飲み比べ、土佐人には土佐の酒が一番あうことを実感しています。だけど、早くコロナが終息して、また旅にでたいです。

(日高支所管内・Tさん78歳)

地酒を美味しく飲めます。酒米の大切さが解りました。

(伊野支所管内・Oさん86歳)

高知で作られている酒米で、高知の地酒が造られるのは素晴らしいですね。酔鯨の土佐蔵に行ってみたいです。

(佐川支所管内・Tさん67歳)

酔鯨酒造に行ってみました。近くに住んでいても知らなかったのが、良かったです。アيسを美味しくいただきました。

(土佐市支所管内・Oさん48歳)

▼全国の地酒を飲み比べたTさん、すごいですね! 全国を回ったからこそ、わかる土佐酒のおいしさですね。おいしいお酒が近くで作られているのは、ありがたいことです。先日、「吟の夢」で作られた冷酒をいただきました。美味しかったので、あつという間に空っぽに…(笑) 酔鯨酒造さんは、私も前の道を通るばかりで立ち寄ったことがないので、近々アイスやコーヒーをいただきたいなと思います。

「男子、厨房にはいるべし!」男の料理教室レポート、良いです、実に良いですね! 高知で採れた野菜や肉、海鮮類を使って食卓に出してみたい料理。今度我が家でも作ってみようと思いました。

(斗賀野支所管内・Yさん59歳)

旦那さんが今、趣味を見つめようとしてまして、この記事を見せたところ、大変興味を持っていました。これを機会に料理に目覚めていただければ、たいへん助かるのですが、このご期待というところです(笑)

(斗賀野支所管内・Tさん41歳)

男の料理教室のレシビがほしい。どこに載っているかわからず…明日はシヨウガの炊き込みご飯に挑戦。

(佐川支所管内・Kさん53歳)

▼男性が料理するというのは、珍しい気もしますが、外食先の料理人はだいたい男性ですよ。家庭料理の分野にも、気軽に厨房に入ってきてもらいたいものです。男女分け隔てなく、料理をするのが当たり前になる世の中がすぐ来そうですね。男の料理教室のレシビは、「うちでごはん」(とさのうと別冊レシビ、JA高知女性組織協議会(編))を参考にしています。お近くの書店では是非お買い求めください(笑) 10坪ぐらいのビルハウスでパイナップルを作っています。妻が友人にももらった1株を増やし、今は100株ぐらい育っています。プレゼントしたみなさんに「美味しい!!」と喜ばれます。

(土佐市支所管内・Iさん78歳)

▼100株のパイナップルがあるってすごいですね! 国産パイナップルは貴重ですので、いただいた方々はさぞかし喜んで受け取っていることでしょう。

以前、こうぐりに玉ねぎの植え方が載っていたので今年はそれを参考に植えました。今度こそは上手にできるかな?

(仁淀支所管内・Nさん62歳)

野菜の保存貯蔵の仕方はとても参考になります。いつも冬越えに失敗して、もったいなくも捨てるようになり、本年は試してみます。ありがとうございます。

(日高支所管内・Kさん78歳)

▼夏野菜も大好きですが、冬のほっこりとしたお野菜たちも大好きです。今年はおうま冬越え、できるといいですね! 玉ねぎも冬の寒さを越えて、春美味しくなると思うので、うまく育ちますように! うまきいたら、また教えてくださいね。

おたよりイラストコーナー



Nさん(78歳)
(土佐市支所管内)



Kさん(69歳)
(伊野支所管内)